

Shimadai^{izm} News

Vol. **24**
2016.9

オンリーワンのキャリアへの道



Dr. 和足が、やってくる！！

平成28年7月6日、卒後臨床研修セミナー
「学校で習わない！研修医になって最初の1週間で困る事。～輸液の【ゆ】編～」

CONTENTS

- ▶ 卒後臨床研修センター専任助教からの挨拶
- ▶ 卒後臨床研修センターHPリニューアル
- ▶ 研修医室から
- ▶ 未来医療研究人材養成拠点形成事業
島根大学リサーチ・セミナー開催しました
- ▶ 私の履歴書
- ▶ 行事のお知らせ
- ▶ 診療科等紹介コーナー

卒後臨床研修センター専任助教からの挨拶

卒後臨床研修センター専任助教 和足 孝之

皆様、始めまして。9月1日より卒後臨床研修センターで勤務する事になりました和足孝之と申します。医師としての得意分野は総合診療、臨床教育です。それに伴う診断学や誤診学などを研究テーマとして掲げて、超急性期の病院等で日夜奮闘して参りました。また日本人医師としては珍しいですが、つい最近まではバンコクにあるMahidol大学臨床熱帯医学大学院に入学し、世界中から集まった医師達とマラリア、デング熱、寄生虫など日本では珍しい感染症を診て触れて研鑽しておりました。と書いていると、確かに自分でも自分が一体何者なのかよく分からなくなります。

つまるところ、自分の理想とする医師になりたいという思いに忠実に、幅広く何事も勉強だと思って学んできました。島根大学の錚々たる先生方の前に並べば、自分はとても若く未熟であり大変恐縮しております。しかし、同時にそれが私の強みでもあり、医学生や研修医の先生方の気持や希望、情熱を汲み取り、最大限に能力を伸ばしていく事にお役に立ちたいです。学年や、職種や、出身大学や、専攻科など全く囚われず、鬼形センター長が掲げるShimadaizmのもと、皆様が目指す理想の自分に近づけるよう全力でサポートしつつ、自分自身としても成長して行きたいと思っております。こんな私ではありますが、学内で見つけられた方は遠慮なく、声をかけてくだされば嬉しく思います。



卒後臨床研修センターHPリニューアル

卒後臨床研修センター長 鬼形 和道



島根大学のロゴマークの「日本海の青色」と「学問の探求の茜色」を基調にした新しいHPをリニューアル致しました。初期研修、後期研修、そして新専門医制度に関する情報が満載です。当センターの住人である研修医からのメッセージ、そしてビデオレター（めざせ！医療の星.TV）をご覧ください。さらに、研修指導医からの熱い応援コール集も用意しました。

お勧めは、Shimadaizm Newsです。当センターの研修の実際からイベント情報までコンパクトにまとめられています。

平成29年度の医科研修医 募集要項に注目下さい。第3回目の選考試験応募締切りは、平成28年9月14日（水）必着です。

<http://shimadaizm.jp>



未来医療研究人材養成拠点形成事業 島根大学リサーチ・セミナーを開催しました

事業実施責任者(総括) 地域医療教育学講座 教授 熊倉 俊一

地域医療リーダー養成のための島根大学リサーチ・セミナー「研究事始め“夏”」を平成28年8月5日（金）に島根大学医学部キャンパス内にて開催致しました。本セミナーは、未来医療研究人材養成拠点形成事業にて設置した大学院研究科博士課程「地域医療・地域包括ケア指導者育成コース」をはじめとして、修士課程「地域包括ケア人材養成コース(医療経営重点)」や「地域包括ケア連携人材養成コース(インテンシブ)」に在籍する大学院生や地域医療機関の医師等を対象に、地域を基盤とした研究の在り方を理解し、今後の各自の研究に役立ててもらおうと企画しました。

はじめに、「研究計画と研究倫理 —人を対象とする医学系研究の基本—」とのタイトルで、島根大学医学部附属病院臨床研究センター臨床研究部門の富井裕子先生に講演頂きました。大変重要な事柄について解説頂き、研究を実施する者としての心構え、姿勢など研究倫理の基本について理解を深めることができました。続いて、地域医療教育学講座の粕壁隆特任教授（事業コーディネータ）より「地域のニーズに根ざした基礎研究 癌研究を例として」として、地域に根ざした基礎研究の在り方や実施方法等について解りやすく講演頂きました。そして、最後に、地域医療教育学講座の熊倉俊一より、「地域のニーズに根ざした疫学・臨床研究」について実際の事例をあげながら、その研究対象や研究項目、実施方法について解説が行なわれました。

参加者は、熱心にセミナーに参加し、活発な質疑応答が行なわれました。今回のセミナーを通じて、地域基盤型研究を展開していく上での基本的な知識の修得と動機付けの向上が図れたと思われました。



未来医療研究人材養成拠点形成事業では、トゥワイライトセミナー、総合医セミナーなど、様々なセミナー等を開催しております。皆様のご参加お待ちしております。詳細は、未来医療研究人材養成拠点形成事業HPをご覧ください。

<http://www.mirai-life-gp.jp/>

私の履歴書 Part.21

- 神経内科 助教 安部 哲史 先生
- 出身大学名／島根医科大学
- 取得専門医名／神経内科専門医、総合内科専門医

私は平成16年に島根医科大学最後の卒業生として母校を卒業し、現在の卒後臨床研修制度の1期生として島根大学附属病院で初期研修を行いました。当初、現行制度は数年で廃止されるかもしれない、などという噂がまことしやかにささやかれており、入局先は研修開始前に決めました。「高齢化先進県である島根で内科医を志そう」という思いと、「21世紀は脳の時代らしい」という情報により、老年医療＋脳＝神経内科、というイメージで選択しました。ローテートする度に新たな興味が芽生えるという初期研修でしたので、気の多い私にとっては研修前に入局先を決めておいたことは良かったのかもしれない。

神経内科に入局後、2度の海外研修と東京医科歯科大学での研修の機会を頂き、医師8年目には当院救急部に所属、9～10年目には益田赤十字病院に赴任し

ました。救急部配属は思いがけない人事でしたが、共に救急部配属となった各内科の先生方と交流を深めることができたのは幸運でした。また、緊急被ばく医療専門講習や外傷初期診療研修の機会に恵まれ、福島第一原発事故対応拠点への派遣や益田赤十字病院での救護班の活動の際に活かすことができました。

まだまだアンバランスな私のキャリアですが、「今向き合っていることは必ずどこかに繋がる」と信じ、予期せぬ出来事も今後のキャリアに活かせるよう心がけて参りたいと思います。



研修医室から

平成28年7月3日（日）レジナビ大阪に参加しました！

多くの学生さんに島根大学ブースを訪問いただきました。鬼形センター長、岡崎副センター長と一緒に参加した2名の研修医の先生からのコメントです。

地元へ帰りたい、有名な病院へ行きたい、大学にそのまま残りたい、など、進路に迷う時期があるものですが、島根県ブースを訪れる方の大半は島根県にゆかりがある、地域医療に興味がある、といった方々でした。中には田舎が大好きという方もおられました。私自身は島根県で育ち、島根大学を卒業した身ですので、私が思う島根県とその医療についてお話させていただきました。少しでも関心を持っていただけたのなら幸いと考えています。

医科研修医2年次
沖田 聡司先生



今回7月3日に大阪で行なわれたレジナビ大阪では、島大の学生さんをはじめ、他大学の学生さんにも多数きてもらうことができました。レジナビでは学生さんとお話をする時間は限られており、病院の雰囲気や研修環境について十分に伝えることはできなかったと感じました。伝えきれなかった部分に関しては、見学にきてもらえればと思います。

医科研修医1年次
田中 晋作先生



行事のお知らせ

開催日時	開催場所	開催名
9/1(木)	臨床小講堂	第3回 明日から使える漢方講座
9/8(木)13:00～	みらい棟4F ギャラクシー	鑑別診断道場
9/9(金)～9/11(日)	みらい棟	臨床研修指導医講習会
9/11(日)14:00～	国際交流ラウンジ	総合診療専門医説明会
9/16(金)	ラビタウェディングパレス	地域枠等全体懇談会
9/27(火)17:45～	クリニカルスキルアップセンター	院内BLS
9/30(金)～10/1(土)	みらい棟4F ギャラクシー	臨床研究講演会及びワークショップ
10/4(火)	みらい棟2F 共通カンファレンス室	地域医療実習報告会
10/13(木)	みらい棟4F ギャラクシー	指導医講習会アドバンスコース
10/25(火)17:45～	クリニカルスキルアップセンター	院内BLS

開催日時	開催場所	開催名
10/29(土)	みらい棟4F ギャラクシー	総合診療ワークショップ
11/5(土)11:30～	講義棟1F 国際交流ラウンジ	地域医療研修説明会
11/8(火)	みらい棟1F みらいラウンジ	高校生の大学訪問
11/11(金)	みらい棟4F ギャラクシー	卒後臨床研修セミナー
11/12(土)	みらい棟4F ギャラクシー	総合医セミナー
11/13(日)	みらい棟2F 共通カンファレンス室	第2回島根ジェネラリストFD
11/21(月)17:45～	クリニカルスキルアップセンター	院内BLS
12/8(木)	臨床小講堂	第4回 明日から使える漢方講座
12/16(金)18:00～	看護学科棟N-12	地域医療セミナー
12/27(火)17:45～	クリニカルスキルアップセンター	院内BLS

診療科等紹介コーナー

当科の
ここが自慢!!

集中治療部

集中治療部では侵襲的手術の術後、院内急変、また救急外来からの“最重症患者”の全身管理を行っています。内科・外科問わず疾患、小児から高齢者まで、リスクも様々であるため、毎朝、集中治療医、主治医、多職種(看護師、理学療法士、管理栄養士、薬剤師、MEなど)での合同カンファレンスを行い、多方向から意見を交わし集学的な治療を行っています。特にハイリスクの予定手術患者については周術期管理チームと協力し、スムーズな回復ができるよう努めます。

日々患者の重症度を評価し、患者の予後改善を目指しています。心臓はもとより肺や気道などにも超音波検査を使うことで循環、呼吸、気道評価を行っています。また日々の積極的リハビリテーション、鎮痛管理、栄養管理を重視した患者ケアを施行しています。重症呼吸不全の呼吸管理については食道内圧を測定その他、国内に数台しかないEITといった最新の呼吸モニタリングを導入予定としており、より早い呼吸不全の改善を目指しています。



当科の
ここが自慢!!

高度外傷センター

高度外傷センターは今年4月から本格始動し、現在3名のスタッフで診療をおこなっています。3名のスタッフはいずれも‘Acute Care Surgery’と呼ばれる比較的新しい分野の専門家ですが、あまり聞き馴染みのない方も多いと思います。‘Acute Care Surgery’とは外傷外科・救急外科・外科的集中治療を3本柱とした新たな診療領域で、主に救急患者の手術とその周術期管理を担当しています。具体的には多発外傷におけるコンダクター(指揮者)として他科と連携して治療にあたったり、体幹部外傷手術や急性腹症に対する手術をおこなったりしています。また、DMATをはじめ

とする災害医療に対する支援活動や教育も積極的におこなっています。将来的にはドクターカーを使用した病院前外傷診療をおこなうべく準備を進めています。

来年度には国内5台目となるハイブリッドER(初療室)を兼ね備えた高度外傷センター棟の建設が予定されており、より質の高い最先端外科診療を提供できるようスタッフ一同努力をしていきたいと思っています。現在、Acute Care Surgery講座は島根大学にしかありません。高度外傷センターやAcute Care Surgeryに興味のある方は、気軽に教室やERにおこしください。お待ちしております。



編集後記

今年は、とても暑い夏でしたが、皆様いかがお過ごしでしょうか。さて、表紙の和足先生の輸血に関するセミナーには、多くの学生さんに参加いただき、会場は大いに盛り上がりしました。今後も様々なセミナーを開催していきます。卒後臨床研修センターHPやfacebookなどで案内しますのでどうぞご参加ください。次回は平成29年1月発行予定です。

島根大学医学部 キャリア形成支援部門

地域医療教育学講座 地域医療支援学講座 総合医療学講座
地域医療政策学講座 卒後臨床研修センター
クリニカルスキルアップセンター 病院医学教育センター

発行/島根大学医学部キャリア形成支援部門 卒後臨床研修センター
〒693-8501 島根県出雲市塩冶町89-1

お問合せ/TEL:0853-20-2006 FAX:0853-20-2375 E-mail:sotsugo@med.shimane-u.ac.jp